

福祉だより



あわい

編集・発行
栗井地区社会福祉協議会
松山市久保88番地
松山市栗井公民館内

栗井の動き

人口 6,564人
(65才以上人口2,491人)
高齢者人口比率 37.9%
世帯数 2,677戸
(令和5年7月1日現在)

会長就任のあいさつ



栗井地区社会福祉協議会 会長 清水 博文
栗井地区民生児童委員協議会 会長

本年5月の栗井地区社会福祉協議会総会におきまして、門屋前会長から会長職を引き継ぐことになりました清水と申します。重責ではございますが、新役員と協力して地域福祉の向上に努めてまいりたいと思いますのでよろしくお願い申し上げます。

栗井地区も高齢化が進み、独居の高齢者も年々増加しています。ですが、私の住まいから栗井小に元気に登下校する児童の姿が見られ、活発な歌声や話し声が聞こえてきます。子供は地域の宝です。そして、お年寄りも地域の財産、知恵袋です。そんな子供からお年寄りまでみんながつながりをもって、笑顔で安心して暮らせる地域になるよう、様々な団体、専門機関や行政と連携しながら地域福祉活動を進めてまいります。

私は栗井地区民生児童委員協議会会長も二期目をお引き受けしています。両会長を兼任することで大丈夫かとのご心配もあろうかと存じますが、逆に、両協議会とも栗井地区の地域福祉活動を実践していますので、連携も取りやすく様々な活動も円滑に推進出来るというメリットを最大限生かしてまいりたいと考えています。

民生児童委員活動、社会福祉協議会活動についてのご意見やご相談など、何でもお気づきの点をお申し出ください。できる限り今後の活動に生かしてまいります。

栗井地区のみなさまのご支援、ご協力をいただきながら、精一杯努力を重ねてまいりたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



令和5年度 栗井地区社会福祉協議会 役員名簿

顧問	顧問	監事	監事	理事	理事	理事	会計	警発調査部長	援護部長	事務局長	副会長	副会長	会長
竹下	高月	白石	清水	住田	西原	西本	田中	相原	西原	茅原	片山	定松	清水
稔	知代	恵子	貞子	信幸	功	信吾	亮二	義裕	晴子	明美	聡	修一	博文

風早自然学校ポレポレは自由学校

代表 玉井 俊幸

風早自然学校ポレポレは平成13年に立ち上げ、今年で22年目になります。子どもは毎年募集をかけているのでほとんど入れ替わりますが、指導者は変動が少ないです。発足当時からかかわってくれている人もいます。真にありがたいことです。

風早自然学校ポレポレ(以下ポレポレという)は読んで字のごとく風早地域の自然について学び活動する学校です。旧北条市地域を(つまり風早)を中心に農業、漁業、林業、自然の物を使ったものづくりなどの体験、自然と遊び、自然と戯れる自由学校なのです。

例えば農業体験では、普通米づくりをします。田植え、草取り、稲刈り、稲こぎ、餅つき、わら細工(わらの利用)など、できる限り活動のそれぞれのつながりや連続性に重きを置きそれぞれの意味を考えさせています。また、それぞれの作業の歴史についても考えさせることにしています。単に米を作るということではなく今や昔の生活とどう繋がっているのかということなども考えさせ、米作りを通して日本の農業の実態に気づいてくればこれに超したことはありません。その他の活動についても同様です。日常生活の中ではなかなか体験できないことを体験させることは必ずや豊かな人間形成に資する上で役立つものと思います。

また子どもたちをお世話いただく方々は、皆さん子ども大好き人間ばかりです。子どもの声や笑顔に接すると心が和む、という人もいますし、子どものために活動することが自分の生き甲斐だと考えている方もおられます。本務を終え第2の人生にポレポレ活動を選択していただいた事に感謝以外の何物もありません。子どもは宝です。みんなの力で健やかに逞しく育つ環境を造りたいものです。



「風早自然学校ポレポレ」は、今年4月、関奉仕財団より第17回奨励賞(教育文化部門)を授与されました。



外出や交流が 減っていませんか？

気分の落ち込み(うつ)やからだの衰えに注意しましょう！

あなたは大丈夫？「高齢期うつチェック」

過去2週間のあなた(家族)の様子について、当てはまるものをチェックしてみてください。
2つ以上の項目に当てはまり、ほとんど毎日続いているような場合は、うつ病の可能性があります。

- ☐ 毎日の生活に充実感がない
- ☐ これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった
- ☐ 以前は楽にできていたことが、面倒に感じる
- ☐ 自分は役に立つ人間だと思えない
- ☐ 訳もなく疲れたような感じがする



高齢期のうつの特徴

精神的に不安定になったり、からだの不調としてあらわれたりする・・・
孤独や喪失をきっかけとしてうつになりやすい・・・

社会参加の機会を積極的につくりましょう

人との交流の ポイント

孤立を防ぐために、1週間に1回以上は友人・知人と交流する。



からだを動かす ポイント

閉じこもりを防ぐために、1日1回以上は何らかの用事を作って外出する。



食生活・口腔ケアの ポイント

しっかり噛んで食べる、早口言葉を言うなど、口の周りの筋肉を動かしましょう。



高齢者の健康・生活に関するご相談は
松山市地域包括支援センター北条

住所 松山市河野別府937-1
松山市北条社会福祉センター内
電話 089-992-0117

栗井地区社会福祉協議会

令和5年度事業計画

4月	役員会
5月	総会
6月	各団体への助成金の配当 自主防災連合会、青少年健全育成推進協議会、 民生児童委員会、6サロン、 ボランティア3団体⇒(日赤奉仕団・ふれあい女性部・放課後子供教室)
8月	福祉だより「あわい」発行
7~8月休み	栗井児童クラブ「夏の活動」への助成
9月中	敬老訪問
9月	男性料理教室
10月	給食サービス
10月	囲碁・将棋 交流会
10月	社会福祉1日研修会
11月	栗井公民館祭り参加(おはぎ・赤飯販売)
11月	いきいき健康教室
12月	給食サービス
12月	歳末助け合い助成活動
1月	いきいきサロン交流会
1月	給食サービス
2月	卒業生との鯛めし作り会
2月	給食サービス
2月	男性料理教室
3月	福祉だより「あわい」発行

社会福祉協議会の活動は、地域の皆様のご理解とご支援により成り立っています。
本年もどうぞ宜しくお願い致します。



令和4年度決算報告

収入の部	
地区社会福祉協議会会費	452,600
共同募金配分金	801,811
福祉活動費(市社協より)	80,000
寄付金	50,000
雑収入	60,007
繰越金	458,932
収入合計	1,903,350
支出の部	
会議費	9,904
事務費	7,342
通信費	56,310
交通費	0
実費弁償費	50,000
負担金(市社協会費)	10,000
保険料(ボランティア保険)	1,050
助成金(ボランティア3団体)	60,000
助成金(栗井地区自主防災連合会)	30,000
助成金(青少年健全育成推進協議会)	30,000
助成金(民生児童委員会)	50,000
助成金(児童クラブ)	50,000
助成金(6サロン)	110,000
卒業生を送る会(中止)	0
敬老訪問	322,500
給食サービス	486,240
男性料理教室(中止)	0
研修費(中止)	0
歳末助け合い	153,000
健康教室	3,792
サロン交流会	26,000
囲碁将棋交流会(中止)	0
予備費	56,000
支出合計	1,512,138

※収支残高 収入合計 1,903,350円 - 支出合計 1,512,138円 = 391,212円(次年度繰越金)